

# 奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会  
奈良市大森西町13-16  
電話0742-33-7266  
FAX 0742-34-5826  
HP naramsyo.jp

## 記帳会

【日時】  
11月18日(水)  
13:30  
【持ち物】  
領収書・帳簿  
筆記用具・電卓



## 絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

# コロナ危機 支援の迅速化を求めよう

最近になって急に仕事がなくなった」の声が寄せられるなど、コロナ危機の下、中小業者の苦境が続いています。こうした中、持続化・家賃支援給付金の入金までの期間が長期化する、持続化給付金を申請中の業者に追加の資料提出を求めるメールを送り、取り下げに誘導するなど、不当な事例が起きています。また、財務省は予定通り来年1月15日に申請の受付を終了することを提言しました。今こそ支援の迅速化と継続を求めましょう。



「沖縄の雰囲気味わいに来てください」と話す荒尾さん

夫の荒尾勇二さんとともに30余年、大森町で「ラウンジ沖縄」を営む敬子さんは10月16日、家賃支援給付金70万3998円を獲得し、「これではしばらくはやっていける。ほっとしました」と喜んでいきます。

敬子さんが奈良民商の申請会に参加して給付金の申請をしたのは8月5日。契約書に印鑑がない」領収書に屋号の記載がない」など、不備メールが2回届き、その都度、修正して再申請。2ヶ月以上かかり、ようやく入金されました。

敬子さんは、不備をまとめて指摘するなど、迅速に対応してほしかった。コロナの影響がいつまで続くかわからない中、これからも支援を継続してほしい」と話しています。



「ややこしくて疲れたわ」と話す高原さん

# GOTO「登録もつと簡単に」

高原雄亮さん「飲食」 鼓阪支部）は10月初め、コロナ禍による売上の減少を少しでも取り戻せれば」と考え、GOTO「トラベル地域共通クーポン取り扱い店舗」の登録申請を行いました。

その後、GOTO「トラベル事務局」から、承認がまだなので、IDとパスワードで承認を受けて下さい」との電話があり、意味がわからず困った高原さんは民商に相談。

尾谷朋香事務局員が問い合わせたところ、登録にはGOTO「EATキャンペーン」の登録を受けていることを証する書類の提出が必要」であることがわかりました。

高原さんはさっそく書類を郵送し、登録を完了。ほんまにややこしい。登録はもっと簡単にできるようにしてほしい」と憤りを語っています。

GOTO」に関することは民商にご相談下さい。



# 大阪市が守れてよかった！

## 中小業者・市民の力で 「都構想」を再び否決



チラシやプラスターを手に、住之江民商の事務所前に集合する参加者

大阪市廃止の是非を問う住民投票が11月1日投票された。反対69万2996票、賛成67万5829票で反対多数となり、大阪市の存続が決まりました。大阪市の廃止が否決されたのは2015年に続き2回目です。大阪市の意思が再び示されました。

大阪維新の会が推進する「大阪都構想」は、政令指定都市である大阪府を解体し、権限も財源も大阪府に吸い上げ、強い力を府知事に集中させ、カジノや大型開発をやりたい放題の体制をつくるのが狙いでした。多くの財源が府に奪われ、中小企業対策をはじめ、住民サービスなどの切り捨てられることが問われました。



商店街でチラシを配る渡邊浩事務局員

奈良民商は大阪商工団体連合会の要請を受け10月24日、大阪市の衰退すれば奈良への影響は必至。他人ごとではない」と、事務局員4人が住之江民商を支援。商店街での街頭宣伝や対話、チラシの配布などにとりくみました。都にはなりません。福祉切り捨ての大阪市廃止に反対を訴え、中年の女性が知らなかった。反対に入れるわ」と応えるなど、中身を知れば反対してもらえろ」という手応えを感じる行動となりました。4人は 奈良の会員さんに大阪市の知り合いに反対の声掛けをお願いします」と話し、住之江民商を後にしました。

### 各支部が読者3人、会員1人を増やそう

### 第1回理事会を開催

奈良民商は11月2日、理事会を開催し、浜中達也会長、製菓部 大安寺支部、嶋守秀利副会長、印刷関係部 南支部、三輪昭三共済会会長、大工部 済美南支部、南増義会計、家具部 奮雄支部、宇野達雄さん、縫製部 学園前支部から10人が参加しました。

はじめに浜中会長は、総会後初めての理事会です。大阪市廃止反対が勝利してよかったですね。15日の全商連総会に向けて、商工新聞読者・会員の仲間を増やすためがんばりましょう」とあいさつ。

霜鳥純一事務局長は、この間、コロナ対策にとりくむ中、4月からの累計で、前年度の1年間の入会者を上回る、49人の入会者を迎えていることなどを報告。みんなで成果を確認しました。

今後の活動については、11月は29日に宣伝・対話統一行動にとりくむこと。11月15日の全商連第53回定期総会に向けて、各支部、商工新聞読者3人、会員1人の仲間を増やすことなどを確認しました。

新開京子さん、造園部、伏見北支部）は10月25日に全婦協総



全商連総会の代議員には嶋守秀利さんの参加を確認しました。

会に参加したことを振り返り、全国の婦人部が頑張っていることがよくわかった。お母ちゃんパワーがしっかり頑張ってこそ政治が動くことに確信がもてた」と話しました。

三輪共済会会長は、自身が掲載された2日付商工新聞の記事を紹介し、共済会で購入した検温器を大いに活用して下さい」と話しました。